



青少年教育指導者セミナー(平成25年9月)

5年後のめざす姿

- 若者から高齢者まで幅広い年齢層の人が、地域の担い手として活躍しています。
- 様々な区民活動の情報が簡単に手に入り、誰もが自由に活動に参加できます。

これまでの成果

- 前期計画が策定されるまでは、地域活動の情報提供の手段やその報告の場もなく、自治会・町会*1、事業者*2、NPO*3等団体は、個別に活動を展開している状況でした。前期計画においては、地域活動の情報集「おおた地域力発見倶楽部」の発行をはじめ、区民活動団体のお祭り「NPO*・区民活動フォーラム」(参加者延べ8,102人)、地域のつなぎ役を育成する「区民活動コーディネーター養成講座」(受講者延べ166人)など様々な事業に取り組みました。各種活動が多くの区民に伝わり、様々な団体間の連携・協働*が深まり区民活動が拡充されました。その成果として、地域活動に興味・関心のある区民が着実に増え、地域の担い手づくりが進みました。
- 区民活動に参加したくても団体の活動を調べる手段がない状況でしたが、この5年間に区民活動団体の情報をインターネット*上で集約・掲載した「大田区区民活動情報サイト*4」を整備しました。アクセス*件数は、開設した平成22年度には4,544件でしたが、24年度には24,389件と大幅に増え、参加機会が増加して地域の担い手の土台づくりが進みました。

現状と課題

- 自治会・町会*をはじめ様々な団体の連携・協働*による活動により区民活動が拡充されてきました。一方、担い手である役員の高齢化や若い世代の参加が少ないことなどが課題となっています。
- 前期計画の施策をさらに推進することによって、地域活動を通して区民の興味・関心を高めて、地域に目を向ける区民を増やし、若い世代から高齢者まで幅広い層の地域の担い手づくりに取り組んでいく必要があります。
- 東日本大震災の発生に伴い、大田区では宮城県東松島市などへの被災地支援組織を立ち上げました。この支援には、高校生から高齢者まで延べ11,059人(平成26年2月末現在)もの区民が参加するなど幅広い層の新たなボランティアが生まれました。こうした被災地支援でボランティアを体験された人たちをはじめ、できる限り多くの区民を地域の担い手につなげていくことが求められています。

*1 自治会・町会
住民が住んでいるその土地(地域)を仲立ちとして近隣関係にある住民が、お互いの助け合いと協力のもとに住みよい環境をつくることを目的として、自主的に結成する組織。

*2 事業者
区内の製造業、非製造業、卸売・小売業、サービス業、商店のほか、専門的な資格や技術を持った区民やその団体、また商店街や工場同士の連携などの組織も「事業者」と位置づける。

*3 NPO
特定非営利活動団体。NonProfit Organizationの略。自発的、継続的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない市民活動団体やボランティア団体。

*4 大田区区民活動情報サイト
様々な分野の区民活動団体の、基本情報やイベント情報、募集情報などをいつでも閲覧することができるインターネット上のサイト。通称「オーちゃんネット」。

指標に注目!

◆めざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値

モノサシ(指標)	未来プラン策定時の「現状」	25年度		30年度
		中間目標	最新値	目標値
「自治会・町会*の会合など地域活動に参加したことがある」と答えた区民の割合(%)	—	70%	72.3%(平成24年度)	75%
大田区区民活動情報サイト*登録数(団体)	535団体(平成19年度)参考数値*	400団体	426団体(平成24年度)	590団体
大田区区民活動情報サイト*へのアクセス*件数(件)	—	—	24,389件(平成24年度)	36,580件

★参考数値は、大田区区民活動情報サイト*を開設する前の、大田区区民活動団体データベース登録数(団体)です。

施策の体系

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

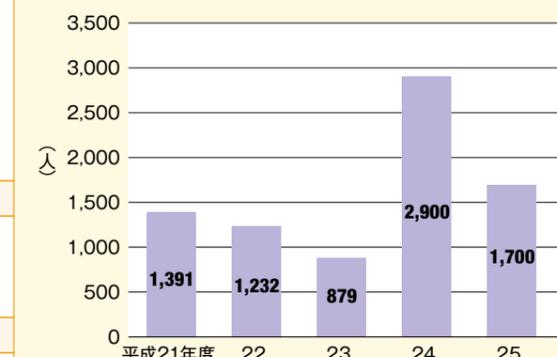
地域力の土台づくりを進めます

1 地域の担い手づくり

- NPO*・区民活動フォーラムの開催
 - 成人のつどいの充実
 - 成人のつどいにおける新成人による企画・運営を支援し、新成人の門出を祝福
 - 区民協働*推進会議の開催
 - 区民の主体的な参画による会議体での、区民協働*推進に関する調査研究
- 区民活動コーディネーター養成講座
 - 区民活動支援施設の運営
 - 区民活動団体やNPO*などの連携・協働*へのコーディネート*、アドバイス等総合的な支援
- 地域協働*協力員の派遣
- 災害ボランティアの育成・支援
- 生涯学習リーダー*の育成(再掲1-2-4)

参考データ

NPO・区民活動フォーラム来場者



出典：大田区調べ

2 区民活動・地域活動に関する情報の提供

- 区民活動情報サイト*の整備・活用
- おおた地域力発見倶楽部の発行

施策の方向性と主な事業

1 地域の担い手づくり

地域力は、区民一人ひとりの地域に対する想いによって支えられています。区民一人ひとりの力が、地域力の源です。地域での様々な活動の場を創出し、その情報発信をすることにより、若い世代から高齢者まで幅広い層の地域の担い手づくりに取り組んでいきます。

主な事業

■NPO*・区民活動フォーラムの開催

区内で活動する様々な区民活動団体やNPO*などの実践的な取り組みを、年1回、本庁舎周辺で、「講座」「模擬店」「お楽しみショー」「相談コーナー」などを通じて発表します。地域で活動する楽しさややりがいをPRし、活動に向けた意識啓発を行います。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
フォーラムの開催	→					継続

■区民活動コーディネーター養成講座

自治会・町会*に加え、専門性を持つ団体、NPO*や事業者*など、地域での連携・協働*を推進するため、他団体との「つなぎ役」となる人材の育成を図ります。現場体験研修も含めて全10回の講座で、30人程度の受講生を予定。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
区民活動コーディネーター養成講座の開催	→					継続

■地域協働*協力員の派遣

地域の特色を活かした地域密着型の活動をしている自治会・町会*やNPO*など団体間の連携・協働を支援するため、NPO*などの活動に関する知識*・経験がある協力員（区非常勤職員）を派遣し、地域課題の解決につなげます。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
協力員の派遣	1人	1人	1人	1人	1人	継続

■災害ボランティアの育成・支援

区の災害ボランティアリーダー育成のため、被災地ボランティア未経験者も含めて講座を実施します。あわせて、被災地ボランティアの区民活動への参加を促すため、情報提供や講座を実施します。



被災地ボランティアが東松島市で支援活動！
大田区生まれの土のうスタンド「大田の輪」が大活躍

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
ボランティア養成講座の開講	→					継続
災害ボランティア講座の開講	→					継続

■生涯学習リーダー*の育成 (再掲1-2-4)

2 区民活動・地域活動に関する情報の提供

福祉、環境、まちづくりなど、様々な分野の区民活動の情報をインターネット*、区報、ホームページやツイッター*を活用して発信し、若者から高齢者まで幅広い年齢層の区民が情報を入手できる環境をつくれます。

主な事業

■区民活動情報サイト*の整備・活用

様々な分野の区民活動団体の情報を、区報、ホームページやツイッター*を活用し、若者から高齢者まで幅広い年齢層の人が広く知ることができるようになります。「オーちゃんネット」で「検索」
<http://www.kyoudou.city.ota.tokyo.jp/>

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
サイトの運営	→					継続

■おおた地域力発見倶楽部の発行

区民の地域活動デビューや地域の担い手を見出すきっかけづくりのため、区で実施する事業（講座）の中で、主に地域活動をテーマとしたものを、一覧表にまとめて、チラシとホームページで年3回、区民へ向けて発信します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
おおた地域力発見倶楽部の発行	→					継続